

平成22年度 全国学力・学習状況調査
宮崎県の調査結果
【1 結果の概要】

学校政策課

◆ 調査の目的

- (1) 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
(2) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
(3) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◆ 調査の概要

- 1 調査実施日 平成22年4月20日(火)
2 対象学年 小学校第6学年、中学校第3学年
3 調査対象 県内の抽出調査の対象となった公立小・中学校
小学校：106校(4,511人) 中学校：83校(6,180人)
4 抽出率 【宮崎県】 小学校：42.4% 中学校：58.9%
【全国】 小学校：25.2% 中学校：43.1%

※ 国立・私立学校も参加しているが、示しているのは、県内の公立小・中学校の結果のみである。

◆ 宮崎県の公立小・中学校の学力調査結果の概要

1 平均正答数

小学校第6学年

年度	教科 〔問題数〕	国語A 〔15問〕	国語B 〔10問〕	算数A 〔19問〕	算数B 〔12問〕
H22	宮崎	12.6	7.7	14.1	5.7
	全国	12.5	7.8	14.1	5.9
	全国との差	+0.1	-0.1	0.0	-0.2

中学校第3学年

年度	教科 〔問題数〕	国語A 〔35問〕	国語B 〔10問〕	数学A 〔36問〕	数学B 〔14問〕
H22	宮崎	26.2	6.6	23.5	6.1
	全国	26.3	6.5	23.3	6.1
	全国との差	-0.1	+0.1	+0.2	0.0

- A問題：主として「知識」に関する問題
身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能
- B問題：主として「活用」に関する問題
知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などに関わる内容
様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

2 平均正答率の推計値及び平均正答率の95%信頼区間

小学校第6学年

(目盛りは誤差の値%)

教科	地域	平均正答率		-3 -2 -1 0 1 2
		推計値	95%信頼区間	
国語A	宮崎	83.8	83.1 ~ 84.5	
	全国	83.3	83.2 ~ 83.5	
国語B	宮崎	77.3	76.4 ~ 78.3	
	全国	77.8	77.7 ~ 78.0	
算数A	宮崎	74.3	73.5 ~ 75.2	
	全国	74.2	74.0 ~ 74.4	
算数B	宮崎	47.6	46.8 ~ 48.5	
	全国	49.3	49.1 ~ 49.5	

※全国の推計値を基準として示しています。

中学校第3学年

(目盛りは誤差の値%)

教科	地域	平均正答率		-3 -2 -1 0 1 2
		推計値	95%信頼区間	
国語A	宮崎	74.9	74.3 ~ 75.5	
	全国	75.1	75.0 ~ 75.2	
国語B	宮崎	66.4	65.6 ~ 67.2	
	全国	65.3	65.1 ~ 65.5	
数学A	宮崎	65.2	64.1 ~ 66.4	
	全国	64.6	64.4 ~ 64.8	
数学B	宮崎	43.2	42.1 ~ 44.4	
	全国	43.3	43.1 ~ 43.5	

※全国の推計値を基準として示しています。

調査結果に関する用語説明

- 本調査は今年度から抽出調査となり、結果についても、「推計値」や「信頼区間」で表されるようになりました。したがって、各都道府県の教科に関する調査については、誤差±1%となるように標本抽出が行われているため、推計値についても、誤差±1%程度の精度となっていることに留意する必要があります。また、平均正答率の推計値のみをもって、データの分析や比較等を行うことは、不適當であり、平均正答率の95%の信頼区間も参考としながら、分析することが重要となります。
- 平均正答率の推計値とは、抽出調査から得られた結果そのものではなく、その結果をもとに、本県の児童生徒が全員受けたとした場合の平均を推計した数値のことです。
- 平均正答率の95%信頼区間とは、本県の児童生徒が全員受けたとした場合に、95%の確率で平均正答率が含まれる範囲のことです。

◆ 宮崎県の結果の概要

本県の学力の状況は、小学校では、昨年度までとほぼ同様の傾向で、国語、算数ともに、知識に関するA問題は全国平均を上回っているが、活用に関するB問題については、全国平均を下回っている。

中学校では、全国平均を若干下回っている教科があるものの、合計では全国の平均を上回っている。しかし、これまでの中学校第3年と比較すると、全国平均を上回る割合が小さくなっている。

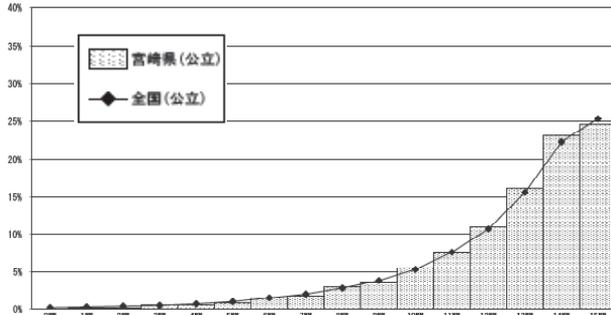
また、今年度の中学校第3年の生徒が小学校第6学年で参加した本調査の結果と比較すると、ほぼ同じ傾向がみられる。調査は学力の一部を測るものであるが、調査結果の詳細な検討・分析を今後の授業改善に生かしていくことが大切である。

※ 過年度の平均正答率については、「宮崎県教育研修センター」のトップページにある、全国学力・学習状況調査の「平成20年度宮崎県の調査結果」「平成21年度宮崎県の調査結果」を参照ください。

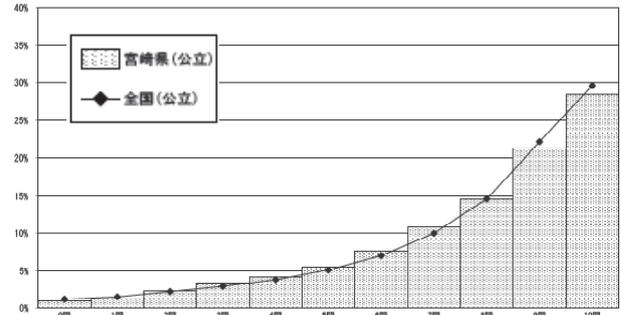
平成22年度 全国学力・学習状況調査
宮崎県の調査結果
【2 小学校国語の結果概要】

学校政策課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）
小学校国語A（15問）



小学校国語B（10問）



※ 棒グラフが宮崎県の平均分布状況、折れ線グラフが全国の分布状況 横軸：正答数、縦軸：児童の割合

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率の推計値、()の中は、全国の平均正答率の推計値、下段は全国平均との差

領域	国語A	国語B
話すこと	83.1 (83.2)	75.2 (75.4)
聞くこと	-0.1	-0.2
書くこと	65.6 (67.7)	91.8 (91.6)
	-2.1	+0.2
読むこと	72.4 (74.1)	72.2 (73.4)
	-1.7	-1.2
言語事項	86.9 (85.8)	71.7 (73.0)
	+1.1	-1.3

問題形式	国語A	国語B
選択式	79.9 (80.8)	74.3 (75.3)
	-0.9	-1.0
短答式	85.8 (84.6)	91.8 (91.6)
	+1.2	+0.2
記述式		73.1 (73.5)
		-0.4

◆ 小学校国語の設問別結果概要（全国平均との比較）

【話すこと・聞くこと】

- (B) 聞き手が質問した内容に合う質問の観点を選択する問題
- (B) 発表の中で資料を効果的に示す場所として適切な箇所を選択する問題

【書くこと】

- (A) 文と文との意味のつながりを理解し、文の中に入る適切な内容を書く問題
- (A) 意見文に書く内容をまとめたカードを、構成した順番に並べる問題

【読むこと】

- (A) 説明的な文章の内容を的確に押さえたり、登場人物を相互に関係付けたりして読む問題
- (B) 物語を読み、発表した内容の中に入る適切な言葉を選択する問題

【言語事項】

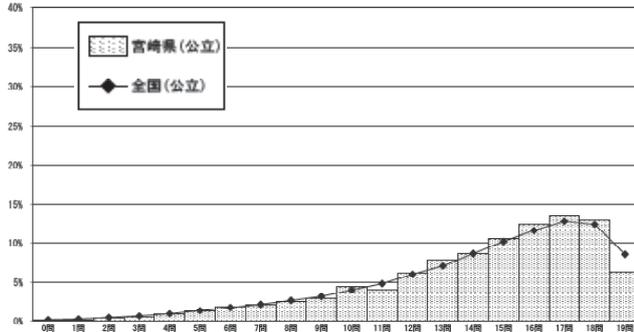
- (A) 小学校第5学年までに学習した漢字を正しく書く問題
- (A) 二つの言葉を一つの言葉にしたり、一つの言葉を二つの言葉に分けたりする問題

- (A) (B) 無解答率が全問題を通じて全国平均より低い。
- (B) 短答式の問題の正答率が、全国平均に対してやや高い傾向が見られる。
- (A) 選択式の問題の正答率が、全国平均に対してやや低い傾向が見られる。

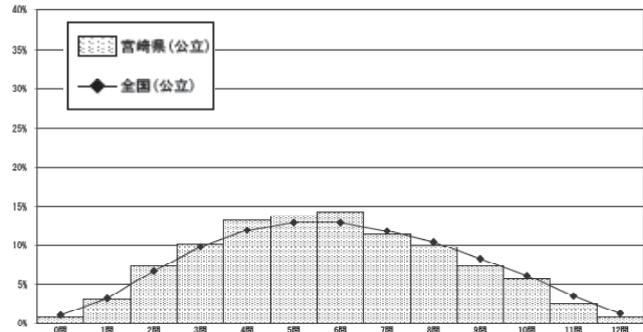
※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）

小学校算数A（19問）



小学校算数B（12問）



※ 棒グラフが宮崎県の平均分布状況、折れ線グラフが全国の分布状況 横軸：正答数、縦軸：児童の割合

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率の推計値、()の中は、全国の平均正答率の推計値、下段は全国平均との差

領域	算数A	算数B
数と計算	72.8 (74.1) -1.3	52.4 (55.8) -3.4
量と測定	74.3 (74.1) +0.2	34.6 (33.3) +1.3
図形	83.2 (83.1) +0.1	39.7 (42.0) -2.3
数量関係	69.5 (65.7) +3.8	53.4 (54.3) -0.9

問題形式	算数A	算数B
選択式	75.4 (76.5) -1.1	56.5 (59.1) -2.6
短答式	73.7 (72.8) +0.9	69.7 (69.0) +0.7
記述式		29.9 (31.6) -1.7

◆ 小学校算数の設問別結果概要（全国平均との比較）

【数と計算】

- (A) 数量を等分したときの1つ分や、等分してできる部分の大きさを分数で表す問題
- (B) 定価を整数にするために、おつりの金額を何円に変えればよいかを選択する問題

【量と測定】

- (A) 台形の面積を求める式と答えを書く問題
- (A) 円を分割し、並べ替えて作った長方形の縦の長さが、円のどの部分に当たるかを選択する問題

【図形】

- (A) 方眼紙上で、3点が与えられた平行四辺形の残りの点の位置を選択する問題
- (B) 本立ての部品の図を見て、どのような長方形かを書く問題
- (B) バスのドアの下にできる三角形について、与えられた条件や図、図形の定義を考えながら、図形の名称や長さの大小を判断し、その理由を書く問題

【数量関係】

- (A) 加法と乗法の混合した整数の計算をする問題
- (A) 40m^2 の面積が 50m^2 のどれだけの割合に当たるかを書く問題
- (A) 折れ線グラフを読み、増え方が最も大きい区間を書く問題
- (B) 定価に対して一定の割合で値引きされた値段について表している図を選択したり、値引きの金額が最も大きくなる商品を選んだ理由を書いたりする問題

- (A) (B) 無解答率が全問題を通じて全国平均より低い。
- (B) 選択式、記述式の問題の正答率が、全国と比べ低い傾向が見られる。

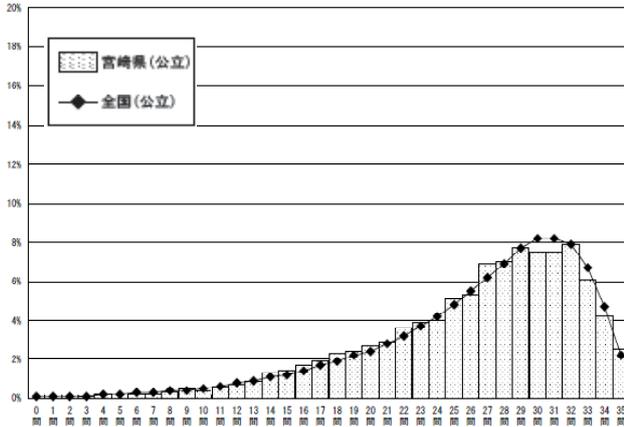
※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

平成22年度 全国学力・学習状況調査
宮崎県の調査結果
【4 中学校国語の結果概要】

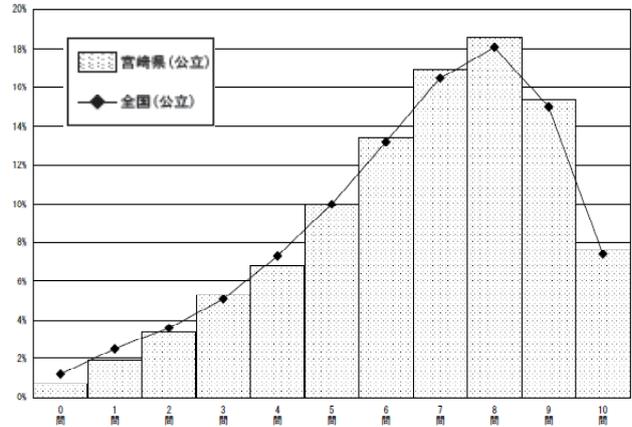
学校政策課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）

中学校国語A（35問）



中学校国語B（10問）



※ 棒グラフが宮崎県の平均分布状況、折れ線グラフが全国の分布状況 横軸：正答数、縦軸：児童の割合

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率の推計値、()の中は、全国の平均正答率の推計値、下段は全国平均との差

領域	国語A	国語B
話すこと	74.6 (74.2)	45.4 (45.6)
聞くこと	+0.4	-0.2
書くこと	69.0 (71.1)	63.1 (60.2)
	-2.1	+2.9
読むこと	75.7 (76.6)	68.7 (67.5)
	-0.9	+1.2
言語事項	76.2 (75.8)	
	+0.4	

問題形式	国語A	国語B
選択式	70.8 (71.2)	75.5 (75.5)
	-0.4	0.0
短答式	81.0 (81.0)	64.3 (64.0)
	0.0	+0.3
記述式		56.4 (53.0)
		+3.4

◆ 中学校国語の設問別結果概要（全国平均との比較）

【話すこと・聞くこと】

- (A) 演説の話し方の特徴として適切なものを選択する問題

【書くこと】

- (A) 一文を二分に分けて書く問題
- (A) 案内文に必要な項目の名称を書く問題
- (B) 新聞を読み、興味をもった記事について感想を書く問題

【読むこと】

- (A) 百人一首の上の句に続く下の句を選択する問題
- (A) 文章の展開に即して、内容の説明として適切なものを選択する問題
- (B) 前後の関係から語句の意味をとらえ、適切なものを選択する問題

【言語事項】

- (A) 文脈に即して漢字を正しく書いたり、読んだりする問題
- (A) 行書の特徴の説明として適切なものを選択する問題
- (A) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切なものを選択する問題

- (A) (B) 無解答率が全問題を通じて全国平均より低い。
- (B) 記述式の問題の正答率が、全国平均に対して高い傾向が見られる。

※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

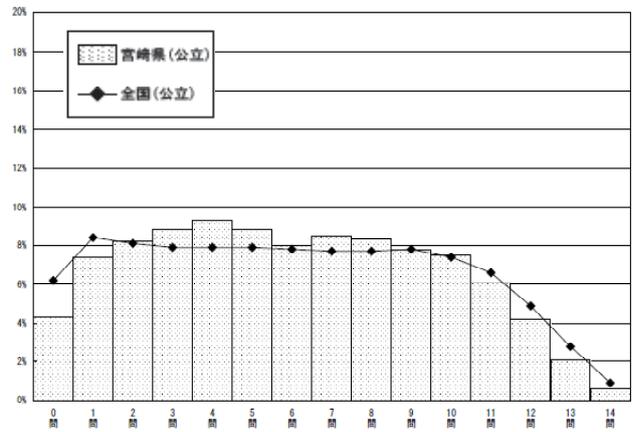
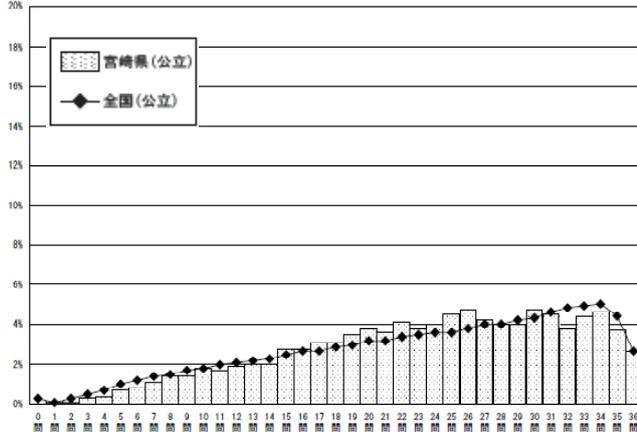
平成22年度 全国学力・学習状況調査
宮崎県の調査結果
【5 中学校数学の結果概要】

学校政策課

◆ 宮崎県全体の正答数分布状況（公立）

中学校数学A（36問）

中学校数学B（14問）



※ 棒グラフが宮崎県の平均分布状況、折れ線グラフが全国の分布状況 横軸：正答数、縦軸：児童の割合

◆ 学習指導要領の領域・問題形式ごとの平均正答率の推計値

※ 太字が宮崎県の平均正答率の推計値、()の中は、全国の平均正答率の推計値、下段は全国平均との差

領域	数学A	数学B
数と式	77.1 (75.2)	43.8 (43.2)
	+1.9	+0.6
図形	63.1 (64.3)	39.4 (40.2)
	-1.2	-0.8
数量関係	55.5 (54.3)	45.4 (45.5)
	+1.2	-0.1

問題形式	数学A	数学B
選択式	61.7 (61.9)	50.3 (51.9)
	-0.2	-1.6
短答式	68.8 (67.3)	54.2 (53.7)
	+1.5	+0.5
記述式		33.3 (33.4)
		-0.1

◆ 中学校数学の設問別結果概要（全国平均との比較）

【数と式】

- (A) 等式を目的に応じて変形する問題
- (A) 一元一次方程式や簡単な連立二元一次方程式を解く問題
- (B) 連続する4つの奇数の和について成り立つ事柄を表現する問題
- (B) 予想された事柄を振り返り、連続する3つの奇数の例をあげ、その和を求める問題

【図形】

- (A) 線対称な図形の対称軸を選択する問題
- (A) 円柱の体積を求める式と答えを書く問題
- (A) 証明の中で用いられている直角三角形の合同条件を選択する問題
- (B) 2つの線分の長さが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する問題

【数量関係】

- (A) 一次関数のグラフから式を求める問題
- (A) 樹形図や表など利用して、総当たり戦の試合数を求める問題
- (A) 比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める問題
- (A) 1枚の硬貨を投げるときの確率について正しい記述を選択する問題

- (A) (B) 無解答率が全問題を通じて全国平均より低い。
- (B) 短答式の問題の正答率が、全国平均と比べやや高い傾向が見られる。

※ ○は全国と比べよくできているもの、●は全国と比べ課題と考えられるもの

【小学校国語】

- 小学校第5学年までに学習した漢字を、正しく書く問題は全国と比べできている。

1

二 次の(1)から(3)までの文の——部のひらがなを、漢字でていねいに書きましょう。

(1) ひさしぶりに おじさんに会う。

(2) ぎじゅつが 進歩する。

(3) 星の位置が へんかする。

■ 正答
 (3)(2)(1) 久(しぶりに) 技術 変化

		正答率	無答率
(1)	宮崎県	86.3%	7.0%
	全国	80.1%	11.5%
(2)	宮崎県	76.5%	3.3%
	全国	74.7%	5.8%
(3)	宮崎県	94.4%	1.4%
	全国	90.3%	3.4%

- 意見文に書く内容をまとめたカードを、構成した順番に並べる問題は全国と比べ課題がある。

5

原田さんは、学校図書館の利用について意見文を書くことにしました。次のアからエまでのカードは、意見文に書く内容をまとめたものです。カードを、①「問題の提示」、②「体験をもとにした事実と意見」、③「調査をもとにした事実と意見」、④「まとめ」の順番になるように並べかえ、その順番に記号を書きましょう。

〔意見文に書く内容をまとめたカード〕

ウ	ア
学校図書館を利用するときには、ほかの人のことを考えて、一人一人がきまりを守り、気持ちよく利用できるようにすることが大切だ。	以前、借りた本に落書きがあって、読みたいところが読めなくなっていった。みんなのものなのでやめるべきだ。
エ	イ
本をおくれて返したことがある人は、全体の約四十パーセントもいることが分かった。次に借りる人のことを考えるべきだ。	最近、学校図書館を利用するときのきまりを守らない人が増えてきた。どのようにすればよいだろうか。

■ 正答
 ①イ ②ア ③エ ④ウ

	正答率	無答率
宮崎県	73.1%	0.2%
全国	75.0%	0.8%

● 発表の中で資料を効果的に示す場所として適切な箇所を選択する問題は全国と比べ課題がある。

一 丸山さんは、発表をするときに、二枚の写真をそれぞれどの場面で示せばよいか考えました。
 【発表原稿】の中で「写真①を示す」「写真②を示す」が入るところを、アからオまでのの中からそれぞれ一か所選んで、その記号を書きましょう。

	発表の仕方	話す内容			
オ	ウ	イ	ア	【写真①】	【写真②】
聞き手の反応を尋ねる	工	【発表原稿】	【発表原稿】	角度が急な屋根の家	角度が緩やかな屋根の家
このように、家の屋根には、雪や台風などによるひがいに備えて、いろいろなとくふうして作られているものがあります。	これは、角度がゆるやかな屋根です。どうしてこんなにゆるやかなのだと思いますか。	雪は、たくさん積もると家をおしつぶすぐらいの重さになります。ですから、雪に備えるくふうの一つとして、屋根の角度を急にしています。さらに、積もった雪を熱でとがして流すなど、いろいろなとくふうがあります。	雪は、たくさん積もると家をおしつぶすぐらいの重さになります。ですから、雪に備えるくふうの一つとして、屋根の角度を急にしています。さらに、積もった雪を熱でとがして流すなど、いろいろなとくふうがあります。	雪は、たくさん積もると家をおしつぶすぐらいの重さになります。ですから、雪に備えるくふうの一つとして、屋根の角度を急にしています。さらに、積もった雪を熱でとがして流すなど、いろいろなとくふうがあります。	雪は、たくさん積もると家をおしつぶすぐらいの重さになります。ですから、雪に備えるくふうの一つとして、屋根の角度を急にしています。さらに、積もった雪を熱でとがして流すなど、いろいろなとくふうがあります。

3 丸山さんは、自然とくらしについて調べ、「写真①」と「写真②」を使って発表しました。
 【発表原稿】を読んで、あとの問いに答えましょう。

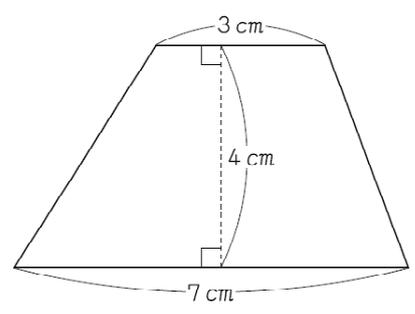
正答
 写真①を示す
 写真②を示す
 エ ウ

		正答率	無答率
①	宮崎県	77.8%	1.2%
	全 国	80.7%	2.0%

【小学校算数】

○ 台形の面積を求める式と答えを書く問題は全国と比べできている。

5 (2) 下の台形の面積を求める式と答えを書きましょう。



正答 【式】 $(3+7) \times 4 \div 2$ など
 【答え】 $20 \text{ (cm}^2\text{)}$

		正答率	無答率
	宮崎県	77.7%	1.1%
	全 国	70.1%	2.5%

● 数量を等分したときの1つ分を分数で表す問題は全国と比べ課題がある。

2 (2) 2ℓのジュースを3等分すると、1つ分の量は何ℓですか。答えを分数で書きましょう。

正答 $\frac{2}{3} \text{ (ℓ)}$

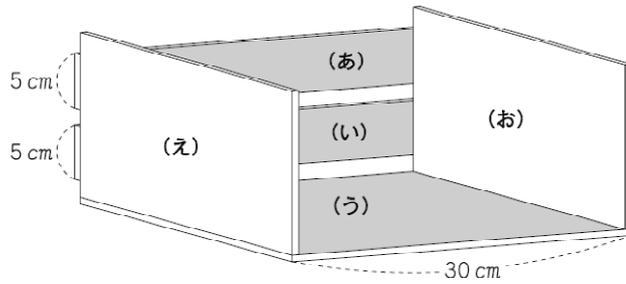
		正答率	無答率
	宮崎県	33.1%	3.4%
	全 国	40.2%	5.4%

● 本立ての部品の図を見て、どのような長方形かを書く問題は全国と比べ課題がある。

2

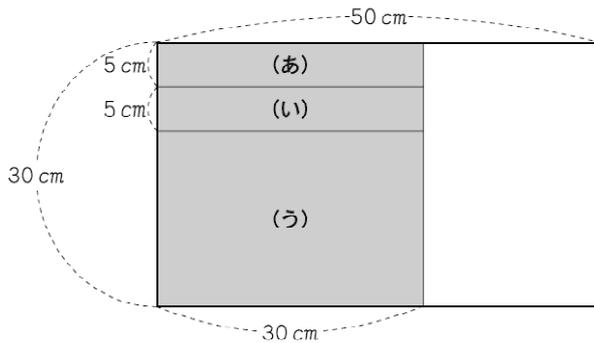
よしおさんたちは、図画工作の時間に本立てを作ることになりました。

(1) よしおさんは、次のような本立てを作ろうと考えています。

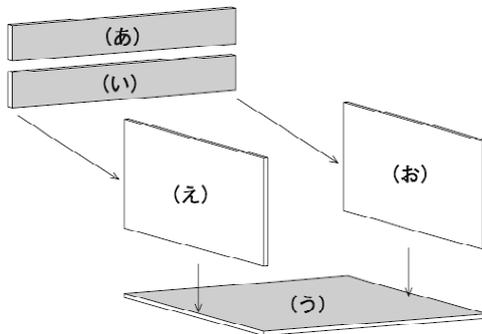


本立てを作るのに使うのは、下のような板です。この板は、たてが30 cm、横が50 cmの長方形です。

長方形(あ)、(い)、(う)は  の部分を、下の図の線のように切って作ります。板の残りの  の部分はあまりが出ないように切って、合同な2つの長方形(え)、(お)を作ります。



切り分けた5枚の長方形の板は、下のように組み立てます。



■正答 (例1) たてが15cm、横が20cmの長方形
(例2) 辺の長さが15cmと20cmの長方形

(え) はどのような長方形ですか。辺の長さと言葉を使って書きましょう。

	正答率	無答率
宮崎県	25.5%	10.4%
全国	31.7%	13.6%

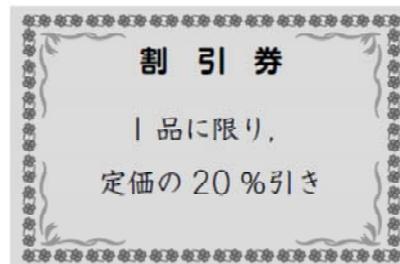
- 定価に対して一定の割合で値引きした値段について、値引きの金額が最も大きくなる商品を選び、その理由を書く問題は全国と比べ課題がある。

5

(2) ひろしさんは、下のような定価で売られているシャツ、ズボン、くつを
1品ずつ買います。



ひろしさんは、右の図のような^{わりびきけん}割引券
を1枚持っています。その割引券には、
「1品に限り、定価の20%引き」と書
かれています。



シャツ、ズボン、くつのうち、どれに割引券を使うと、^{ねび}値引きされる金額
がいちばん大きくなりますか。

上のア から ウ までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。また、
その記号の商品に割引券を使うと、値引きされる金額がいちばん大きく
なるわけを、言葉や式を使って書きましょう。

【記号】 ウ

【わけ】 (例1) 比較量、基準量、割合の関係を基にして説明する

値引きされる金額は、定価×値引きの割合 で求められる。
どの商品に割引券を使っても、値引きの割合は20%で同じな
ので、定価が高いほど値引きされる金額も大きくなる。3つ
の商品の中で定価がいちばん高いのはくつなので、くつに割
引券を使うと値引きされる金額がいちばん大きくなる。

(例2) 値引きされる金額を計算して説明する

値引きされる金額は、シャツに割引券を使うと、 $1900 \times 0.2 = 380$ なので380円になる。ズボンに割引券を使うと、 $3900 \times 0.2 = 780$ なので780円になる。くつに割引券を使うと、 $5800 \times 0.2 = 1160$ なので1160円になる。
だから、くつに割引券を使うと値引きされる金額がいちばん大きくなる。

	正答率	無答率
宮崎県	14.4%	3.0%
全国	17.1%	4.5%

● 語句の意味を理解し、文脈の中で適切なものを選択する問題は全国と比べ課題がある。

三 次のアからオの文では、() の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

- ア 物質が変化していく(1 家庭 2 仮定 3 過程 4 課程)を調べる。
 イ 会議で決を(1 執る 2 撮る 3 捕る 4 採る)。
 ウ わたしが健康になったのは、(1 ひとえに 2 ほのかに 3 いちずに 4 むやみに) 母のおかげです。
 エ 参観日には父が学校へ来ると(1 申して 2 おっしゃって 3 話されて 4 申されて) おりました。
 オ 兄は困っている人を見るとほうっておけない(1 品格 2 資質 3 性分 4 器量)だ。

オ	エ	ウ	イ	ア
3 性分	1 申して	1 ひとえに	4 採る	3 過程

		正答率	無答率
ア	宮崎県	81.1%	0.5%
	全 国	84.2%	1.2%
イ	宮崎県	47.7%	0.6%
	全 国	43.2%	1.3%
ウ	宮崎県	61.2%	0.9%
	全 国	63.5%	1.5%
エ	宮崎県	49.9%	0.9%
	全 国	52.8%	1.7%
オ	宮崎県	45.0%	1.6%
	全 国	48.8%	2.3%

【中学校数学】

○ 樹形図や表など利用して、総当たり戦の試合数を求める問題は全国と比べできています。

14

(1) A, B, C, Dの4チームがバレーボールの試合をします。どのチームも他のすべてのチームと1回ずつ試合をします。このときの全部の試合数を求めなさい。

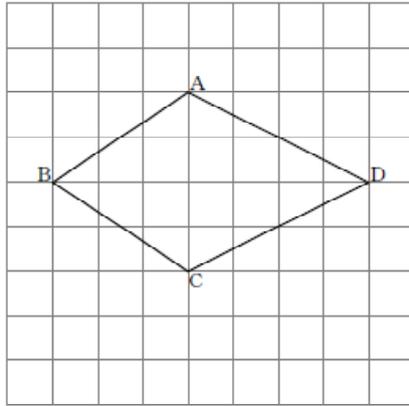
■ 正答 6

		正答率	無答率
宮崎県		76.8%	7.1%
全 国		66.4%	10.4%

● 線対称な図形の対称軸を選択する問題は全国と比べ課題がある。

4

(1) 次の四角形ABCDは、線対称な図形です。対称軸はどれですか。
下のアからオまでの中から正しいものを1つ選びなさい。



- ア 直線AC
- イ 直線AB
- ウ 直線BD
- エ 直線CD
- オ 直線ACと直線BD

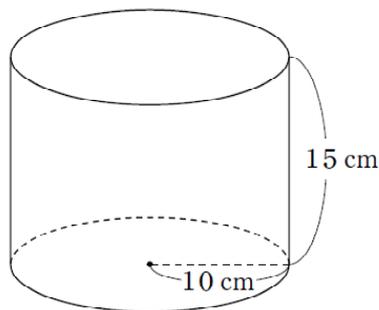
■正答 ウ

	正答率	無答率
宮崎県	62.9%	0.3%
全国	68.5%	0.7%

● 円柱の体積を求める式と答えを書く問題は全国と比べ課題がある。

5

(4) 底面の円の半径が10 cmで、高さが15 cmの円柱があります。
この円柱の体積を求める式と答えを書きなさい。ただし、円周率を π とします。

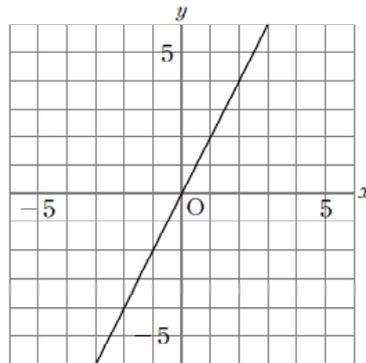


■正答【式】(例) $10 \times 10 \times \pi \times 15$
【答え】 1500π (cm³)

	正答率	無答率
宮崎県	31.9%	13.6%
全国	39.9%	17.7%

● 比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める問題は全国と比べ課題がある。

9 (3) 次の図の直線は、比例のグラフを表しています。



x の変域が $-1 \leq x \leq 2$ のとき、 y の変域はどのようにになりますか。
次のそれぞれの に当てはまる数を求めなさい。

$$\text{ } \leq y \leq \text{ }$$

■正答 $-2 \leq y \leq 4$

	正答率	無答率
宮崎県	33.7%	16.0%
全国	45.0%	20.0%

○ 連続する4つの奇数の和について成り立つ事柄を表現する問題は全国と比べできている。

2 (3) 連続する4つの奇数の場合、その和がどんな数になるかを調べます。

$$\begin{array}{ll}
 1, 3, 5, 7 \text{ のとき} & 1 + 3 + 5 + 7 = 16 \\
 3, 5, 7, 9 \text{ のとき} & 3 + 5 + 7 + 9 = 24 \\
 5, 7, 9, 11 \text{ のとき} & 5 + 7 + 9 + 11 = 32 \\
 \vdots & \vdots
 \end{array}$$

連続する4つの奇数の和は、どんな数になりますか。健太さんの予想の書き方のように「　　は、……になる。」という形で書きなさい。

■正答 (例) 連続する4つの奇数の和は、8の倍数になる。

	正答率	無答率
宮崎県	63.2%	15.4%
全国	57.5%	19.9%

◆ 児童生徒質問紙調査（公立）の「学力向上10のポイント」について

- ・ 質問事項は全調査項目（77問）で構成されています。ここでは、本県が平成19年度に作成した「こんな子どもは学力が伸びている！学力向上10のポイント」（資料参照）と関連する調査項目について取り上げています。
- ・ ①～⑥の番号は、「学力向上10のポイント」の番号を示し、①～④は、小・中学校共通項目になります。
- ・ 数値は、各項目について肯定的に回答した児童生徒（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」）の割合を合計したものです。

※（ ）内は全国の値を表している。

番号	内 容	年度	小学校 (%)	中学校 (%)
小中 ①	もっていくものを事前に確かめている	H22	88.5 (87.1)	88.6 (84.5)
		H21	87.8 (86.5)	88.1 (83.8)
		H20	86.9 (85.3)	87.3 (83.3)
		H19	87.2 (85.2)	86.6 (83.1)
小中 ②	家で学校の宿題をする	H22	96.2 (96.0)	94.3 (84.6)
		H21	96.5 (95.5)	93.6 (83.0)
		H20	96.2 (95.2)	92.9 (81.4)
		H19	96.0 (94.7)	92.2 (80.2)
小中 ③	家で学校の復習をする	H22	81.6 (49.6)	73.3 (43.5)
		H21	79.9 (46.0)	73.1 (40.5)
		H20	78.7 (43.4)	71.3 (39.6)
		H19	74.7 (40.1)	69.2 (39.2)
小中 ④	算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える	H22	83.4 (77.3)	71.1 (67.1)
		H21	82.8 (76.8)	71.0 (64.8)
		H20	81.6 (76.0)	68.0 (63.6)
		H19	80.1 (74.7)	68.6 (63.0)
小 ⑤	新聞やテレビなどのニュースに関心がある	H22	68.2 (66.9)	65.4 (64.2)
		H21	69.1 (67.8)	68.8 (66.1)
		H20	66.0 (66.1)	64.6 (64.1)
		H19	65.9 (66.0)	69.1 (67.3)
中 ⑤	読書は好き	H22	75.8 (73.0)	69.8 (68.8)
		H21	76.4 (71.8)	68.6 (67.4)
		H20	76.6 (72.3)	71.0 (69.0)
		H19	75.1 (71.3)	70.2 (67.9)
中 ⑥	解答を文章で書く国語の問題について、最後まで解答を書こうと努力する	H22	75.8 (72.6)	69.8 (65.2)
		H21	68.7 (67.6)	75.7 (69.4)
		H20	68.4 (67.5)	69.0 (63.4)
		H19		79.2 (73.3)

◆ 児童生徒質問紙調査の「学力向上10のポイント」結果概要（全国平均との比較）

- 取り上げた調査項目については、小・中学校ともすべて全国平均を上回っている。
- 小・中学校とも、「もっていくものを事前に確かめる」「家で学校の宿題をする」「家で復習をする」「あきらめずにいろいろな方法を考える」について、肯定的に回答している児童生徒の割合が高く、本県の児童生徒は、全国と比べ、学習に対する意識や習慣が好ましい状況にあるものと考えられる。
- ニュースや読書への興味・興味をより高める取組が必要である。

【資料】

「こんな子どもは学力が伸びている！学力向上10のポイント」

この「学力向上10のポイント」は、「学校改善支援プラン（宮崎県小中学校学力向上検証改善委員会作成）」により、平成19年度全国学力・学習状況調査の結果に基づいて作成したものです。

小学校用

① もっていくものを**事前**に確かめている子ども

② 出された**宿題**をその日のうちに終わらせる子ども

③ 授業の**復習**をよくする子ども

④ 解き方が分からないときにも**あきらめず**にいろいろな方法を考える子ども

⑤ 新聞やテレビの**ニュース**を見ている子ども

⑥ 普段よく**漢字**を使っている子ども

⑦ 普段よく**計算**をする子ども

⑧

⑨

⑩

中学校用

① 持っていくものを**事前**に確かめている子ども

② 出された**宿題**をその日のうちに終わらせる子ども

③ 授業の**復習**をよくする子ども

④ 解き方が分からないときにも**あきらめず**にいろいろな方法を考える子ども

⑤ よく**読書**をする子ども

⑥ **文章問題**も、最後まで解答を書こうと努力する子ども

⑦ 普段よく**計算**をする子ども

⑧

⑨

⑩

注：⑧～⑩には、各市町村教育委員会や各学校の実態に応じて記入し、各学校で作成されています。

平成22年度 全国学力・学習状況調査
宮崎県の調査結果
【9 児童の学習状況の概要】

学校政策課

◆ 宮崎県が全国平均を上回る主な質問について

児童質問紙について（「学力向上10のポイント」以外の項目）本県と全国の状況を比較し、肯定的な回答（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」）をした児童の割合が、全国平均を上回る主な質問を示してあります。

【小学校】

質問番号	分類	内容	宮崎	全国	全国との差
9	生活面	早起きである（午前6時30分前）	58.4	36.8	21.6
13		普通の日での1日当たりの、テレビゲームの時間（1時間以下）	57.2	52.1	5.1
15		携帯電話をもっていない	77.1	69.9	7.2
39		近所の人に会ったときは、あいさつをする	94.5	89.9	4.6
16	学習面	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたり2時間以上勉強をする	33.4	25.7	7.7
20		昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へ週1回以上行く	25.6	18.7	6.9
25		家で自分で計画を立てて勉強をしている	67.2	58.3	8.9
27		家で学校の授業の予習をしている	55.7	40.4	15.3
29		家で苦手な教科の勉強をしている	65.9	49.9	16.0
30		家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している	73.5	51.8	21.7
63		算数の勉強は好き	75.5	63.8	11.7
65		算数の授業の内容はよく分かる	85.1	78.0	7.1
66		算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う	84.6	78.2	6.4
68		算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	73.9	64.6	9.3
7	意識・経験	自分には、よいところがあると思う	80.7	74.4	6.3
34		今住んでいる地域の行事に参加している	69.9	61.6	8.3

◆ 児童質問紙の結果概要（全国平均との比較）

- 肯定的に答えている質問が多く、全国と比較し5ポイント以上上回っている質問が15項目ある。
- 「早起きである」と肯定的に回答している児童の割合が高い。
- 「近所の人にあいさつをする」と肯定的に回答している児童の割合が高い。
- 「授業の予習や苦手教科の克服」「テストのやり直し」等、家庭での学習の項目に肯定的に答えている児童の割合が高い。
- 国語、算数の2教科のうち、算数について肯定的な回答をしている児童の割合が高い。
- 「国語Bの解答時間」について「足りない」と回答している児童の割合が高い。
- 「算数Bの解答時間」について「足りない」と回答している児童の割合が高い。

平成22年度 全国学力・学習状況調査

宮崎県の調査結果

【10 生徒の学習状況の概要】

学校政策課

◆ 宮崎県が全国平均を上回る主な質問について

生徒質問紙について（「学力向上10のポイント」以外の項目）本県と全国の状況を比較し、肯定的な回答（「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」）をした生徒の割合が、全国平均を上回る主な質問を示してあります。 【中学校】

質問番号	分類	内容	宮崎	全国	全国との差
9	生活面	早起きである（午前6時30分より前）	47.6	34.3	13.3
13		普通の日々の1日当たりの、テレビゲームの時間（1時間以下）	68.4	58.7	9.7
14		普通の日々の1日当たりの、インターネットの時間（1時間以下）	71.2	64.9	6.3
15		携帯電話をもっていない	63.1	41.8	21.3
22		家の人と学校での出来事について話をしている	69.9	63.7	6.2
39		近所の人に出会ったときは、あいさつをしている	91.0	83.9	7.1
18	学習面	学習塾（家庭教師を含む）に通っていない	57.1	36.9	20.2
21		家族の人と普段（月～金曜日）、夕食を一緒に食べる	87.5	82.7	4.8
25		家で自分で計画を立てて勉強をしている	47.6	41.8	5.8
29		家で苦手な教科の勉強をしている	57.0	43.8	13.2
30		家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している	53.8	39.7	14.1
44		「総合的な学習の時間」の勉強は好き	73.4	64.5	8.9
45		「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思う	74.4	65.8	8.6
47		普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられている	78.9	73.3	5.6
48		普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っている	64.1	55.3	8.8
64		数学の勉強は大切だと思う	84.4	79.3	5.1
69	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	75.8	68.0	7.8	
7	意識・経馬	自分によいところがあると思う	66.8	63.1	3.7
8		将来の夢や目標を持っている	76.5	71.7	4.8
38		人が困っているときは、進んで助けたい	77.8	74.3	3.5

◆ 生徒質問紙の結果概要（全国平均との比較）

- 肯定的に回答している質問が多く、全国と比較し5ポイント以上上回っている質問が16項目ある。
- 「早起きである」と肯定的に回答している生徒の割合が高い。
- 「携帯電話をもっていない」生徒の割合が高い。
- 「学習塾（家庭教師を含む）に通っていない」生徒の割合が高い。
- 「苦手教科の克服」「テストのやり直し」等、家庭での学習の項目に肯定的に答えている生徒の割合が高い。
- 「数学」や「総合的な学習の時間」の学習について肯定的に回答している生徒の割合が高い。
- 「国語Bの解答時間」について「足りない」と回答している生徒の割合が高い。
- 「数学Bの解答時間」について「足りない」と回答している生徒の割合が高い。
- 「家で学校の予習をしている」と肯定的に回答している生徒の割合が低い。